

第1回 勉強会の報告

平成24年10月12日（金）に南江戸本村集会所
（参加者は12名）で行われました。

講演

「明日のまちを考えよう
～今決めておくまちづくりのルール～」

百年後のまちの姿を描こう！

自分のためだけではなく、将来住む子どもたちのために今、考えよう。20年後、50年後、100年後の松山で住みたいと思うまちはどんな姿だろうか？100年先に生きている人はいないですが、でも、100年前の町割り・建物が残っている。

ちょっとした未来志向です。自分たちのあとに住む人のことも考えていきましょう。地方都市の子ども世代は職業選択で外へ出ていく。子どもたちが帰ってくるために、将来住むかもしれない子や孫の事を考えていこう。



講演の風景

【講師紹介】

京都府立大学 教授

宗田 好史(むねた よしふみ)氏



都市計画、地域計画の中でも、特に歴史的環境・自然環境を活かした町並みや村並みの再生に取り組んでおられます。「地域課題に目を向け、住民自らが取り組むことを目指して」地域連携や地域からの相談を受けられています。

ワーク
ショップ

参加者による座談会（ワークショップ）では、松山駅西地区の想いを語り合いました。

松山駅西地区のまちの魅力は？

静かな環境

暮らしやすさ、隣近所で話し合いができる、道路を隔てて話し合いができる、小学生のかわいい声が聞こえる、生活音が聞こえるので安心……など意見が出ました。



今後の住環境の不安は？

住宅以外の建物が建つこと

隣近所が変わってしまうかも、商業施設ができて……治安の悪化、騒音、照明がまぶしい、住宅と商業施設などの混在、生活時間、サイクルが異なる……など意見が出ました。



ワークショップの風景



勉強会に参加して、話し合えたことがよかったと皆さん話していました。

また、アンケートには多くの地権者が集まって欲しいとの思いが込められていました。